

第1学年 学年便り

第1学年主任
中村 雅弘

『「わらしべ長者」は日本独特の話ではない。世界各国にそれに似た昔話があり、そこに経済学的な考え方の普遍性を私は感じるのである。私の特に好きなのはヒマラヤの国ブータンで語られる話だ。

ある男が畑を耕していたら、宝石が出てきた。すると宝石と馬を交換してほしいという人が現れたので、宝石に興味のなかった男は宝石を手放して馬を得た。次に馬が牛に代わり、そして羊になった。そのような取引を繰り返しているうちに、男の持っているものは鳥一羽になった。

すると、その鳥が欲しいけれども、交換するものが何もない。自分の知っている歌を一つ教えてあげるから、鳥をくれないかという人がいたので、男は喜んで鳥と歌を引き換えにした。そして男は歌を口ずさみつつ、幸せな顔をして立ち去って行った。

経済学の理屈では、この男も利益を得たはずだし、実際そうだろう。こういう人物こそ、人生で本当に大きな利益を得られるものではないかと、私は思う。』

国語総合の授業で学んだ梶井厚志さんの評論文の一節です。「こういう人物こそ、人生で本当に大きな利益を得られる」という表現からは、「精神生活の豊かさ」を重視する筆者の立場がうかがえます。また、世界各地にある同じような昔話では、登場人物がみな、それぞれの幸せを手に入れていましたね。

さて、これまでのみなさんの学校生活を振り返って、「本当に大きな利益」を得られるような活動をしてきましたか。まわりにいる友人やクラスメイトが、「幸福」を手に入れられるよう、「取引」を「媒介」する役回りをあなたは務めることができましたか。その役回りはけっして「運」だけで手に入れられるものではありませんでしたね。

自分の価値観をしっかりと持ったうえで、「他人を喜ばす」という活動を行えば、きっと「わらしべ長者」や「ブータンの男」のように、幸福を手に入れることができるはずです。そのためには、みんなが気持ちよく高校生活を送れるよう、自らの「役回り」、つまり自分の行動を改めて点検する必要があるのではないのでしょうか。2019年を締めくくるにあたり、以下の点を再度見つめ直し、2020年のスタートを気持ちよく切れるよう、この冬休みにしっかりと準備しましょう。

学習面

- 予習復習をしましたか ○グループ学習に積極的に参加しましたか
- 提出物は期日までにしていますか ○集中して授業に臨みましたか
- 家庭学習をしていますか etc…

生活面

- 挨拶をしていますか ○他人に迷惑をかけていませんか ○服装が乱れていませんか
- 人の気持ちを考慮した言動をしていますか ○登下校のマナーは良いですか
- 登校したらスマホ電源を切っていますか ○自分勝手な判断で行動していませんか
- 規則正しい生活習慣が身についていますか
- スマホやゲームに時間を費やしていませんか。etc…

それではまた来年、みなさんの元気な姿に会えることを願って、筆を擱きます。